

平成20年9月期決算の概要【損益、資産・負債等(銀行単体)】

1. 損益の状況

- ※1. <業務粗利益> 金融市場の環境悪化に伴う投資信託の販売減少等から、役務取引等利益が61億円(前年同期比▲8億円)となったものの、資金利益354億円(同比+9億円)、その他業務利益9億円(同比+2億円)により、業務粗利益は424億円(同比+3億円)となりました。
- ※2. <経費> 預金保険料支払いの追加(+8億円)、預金保険機構による資金援助にかかる事業税の増加(+13億円)等により、経費は248億円(前年同期比+38億円)となりました。
- ※3. <不良債権処理関係> 正常先・要注意先・要管理先の引当率低下等から、一般貸倒引当金戻入益26億円を計上したものの、個別貸倒引当金繰入45億円、貸出金償却39億円等により、実質信用コストは58億円(前年同期比+60億円)となりました。
- ※4. <経常利益> 不良債権処理損失額の増加や株式等関係損益の悪化のほか、退職給付会計における数理計算上の差異の償却処理25億円(発生翌年度に全額を損益処理するうちの半期分)が影響し、経常利益は94億円(前年同期比▲82億円)となりました。

(単位：億円)

	19/9期 実績	20/9期 実績	19/9期比	21/3期 事業計画	計画対比
(収益)					
業務粗利益	421	424	3	890	47.6% ※1
資金利益	344	354	9	730	48.4%
役務取引等利益	69	61	▲8	151	40.3%
その他業務利益	6	9	2	9	100.0%
経費	(-)210	(-)248	(-)38	(-)487	50.9% ※2
人件費	(-)99	(-)109	(-)9	(-)220	49.5%
物件費	(-)91	(-)104	(-)12	(-)224	46.4%
税金	(-)19	(-)35	(-)16	(-)43	81.3%
一般貸倒引当金繰入額	-	(+)▲26	(+)▲26	(-)8	- ※3
業務純益	210	201	▲8	395	50.8%
実質業務純益	210	175	▲34	403	43.4%
コア業務純益	207	169	▲37	403	41.9%
不良債権処理損失額	(-)39	(-)85	(-)46	(-)64	132.8% ※3
株式等関係損益	10	▲0	▲11	-	-
経常利益	177	94	▲82	331	28.3% ※4
特別損益	35	2,565	2,530	2,600	98.6%
中間(当期)純利益	212	2,659	2,447	3,063	86.8%
(注) 実質信用コスト = 一般貸倒引当金繰入額 + 不良債権処理損失額 + 前期債権売却清算損 - 償却債権取立益					
実質信用コスト(注)	(+)▲2	(-)58	(-)60	(-)72	80.5% ※3
(経営指標)					
貸出金利回	2.20%	2.19%	▲0.01%	2.20%	▲0.01%
有価証券利回	1.03%	1.12%	0.09%	1.23%	▲0.11%
預金等利回	0.31%	0.30%	▲0.01%	0.31%	▲0.01%
OHR	50.04%	58.63%	8.59%	54.70%	3.93%
コア業務純益ROA	1.00%	0.77%	▲0.23%	0.91%	▲0.14%
不良債権比率(金再法 <sup>ペ</sup> - <sup>ス</sup> )	5.04%	4.79%	▲0.25%	4.41%	0.38%

2. 資産・負債等の状況

- ※5. 貸出金残高は、住宅ローンが堅調に推移したことから、19年9月末比+176億円(年増率0.5%)となりました。うち正常債権は、同比+253億円(年増率0.8%)となりました。なお、リスク管理債権は、同比▲76億円となりました。
- ※6. 預金残高は、19年9月末比▲268億円(年増率▲0.6%)となりましたが、個人預金が同比+365億円(年増率1.2%)となりました。預り資産については、保険・債券は増加いたしましたが、投資信託の販売減少や基準価格下落の影響から、残高は同比▲162億円となりました。
- ※7. 株価下落による有価証券評価差額金の減少があるものの、純資産は1,574億円となりました。また、自己資本比率は6.01%となりました。  
(20/3末比純資産増加額4,212億円 = 中間純利益2,659億円 + 増資1,600億円 - 評価差額金等減少47億円)

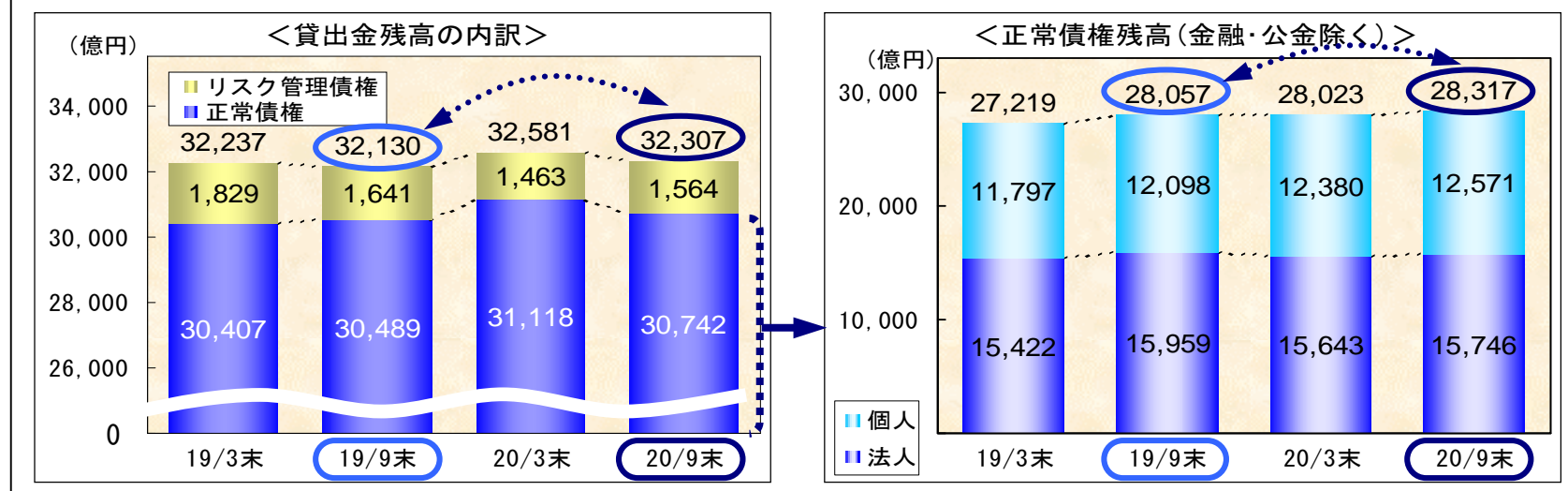
(単位：億円)

	19/9末 実績	20/9末 実績	19/9末比	20/3末 実績
(資産の部)				
現金預け金	822	757	▲64	928
コールローン	501	756	254	1,173
有価証券	8,760	11,039	2,278	8,957
貸出金	32,130	32,307	176	32,581 ※5
正常債権	30,489	30,742	253	31,118
リスク管理債権	1,641	1,564	▲76	1,463
貸倒引当金	△869	△648	221	△670
その他	990	981	▲9	1,000
資産の部合計	42,336	45,193	2,857	43,971
(負債の部)				
預金	42,205	41,936	▲268	42,603 ※6
うち個人預金	29,593	29,959	365	29,879
うち法人預金	9,167	8,705	▲462	8,304
うちその他	3,443	3,271	▲171	4,419
市場調達(コールマネー等)	2,125	896	▲1,228	3,033
その他	905	785	▲120	971
負債の部合計	45,236	43,618	▲1,617	46,609
(注) 預り資産残高 = 投資信託 + 債券 + 保険				
預り資産残高(注)	6,198	6,036	▲162	5,882 ※6
(純資産の部)				
資本金	1,474	1,350	▲124	1,474
利益剰余金	△4,716	0	4,717	△4,383
中間(当期)純利益	212	2,659	2,447	545
その他有価証券評価差額金等	341	223	▲117	271
純資産の部合計	△2,900	1,574	4,474	△2,637 ※7
自己資本比率	△13.00%	6.01%	19.01%	△11.57% ※7

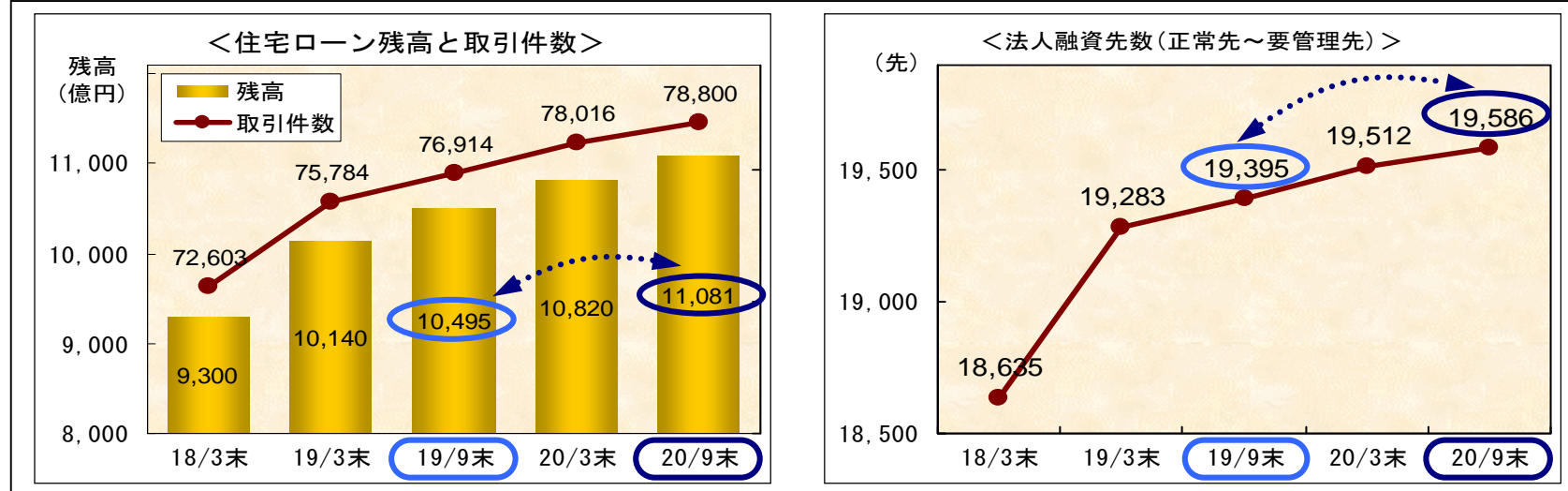
平成20年9月期決算の概要【主なポイント(銀行単体)】

1. 貸出金の状況

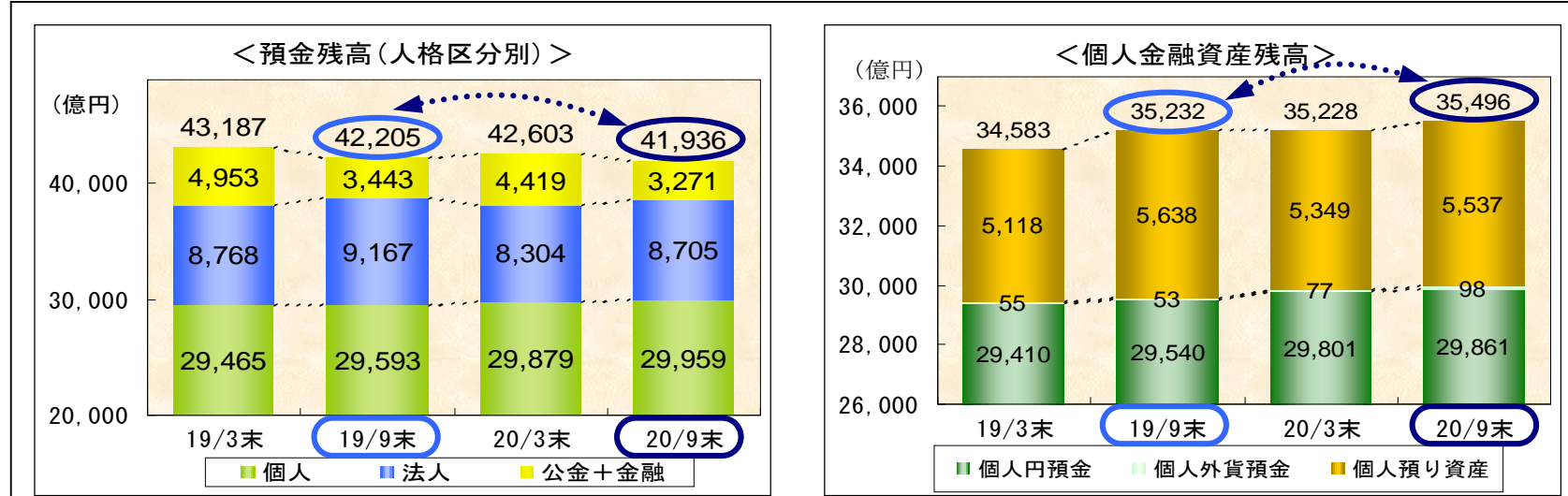
(1) 貸出金残高の推移



(2) 住宅ローン・法人融資先数

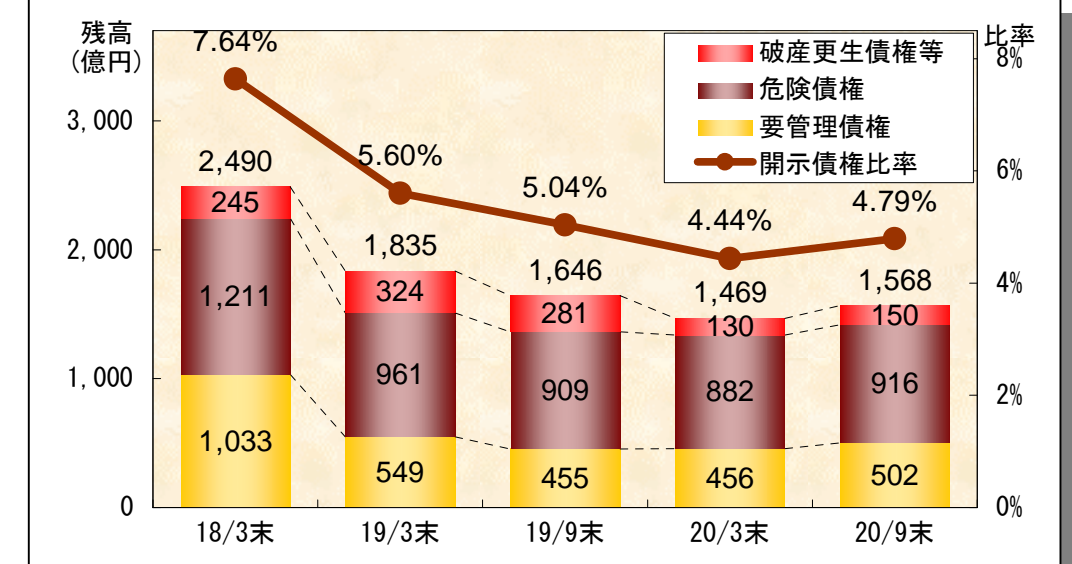


2. 預金・預り資産の状況

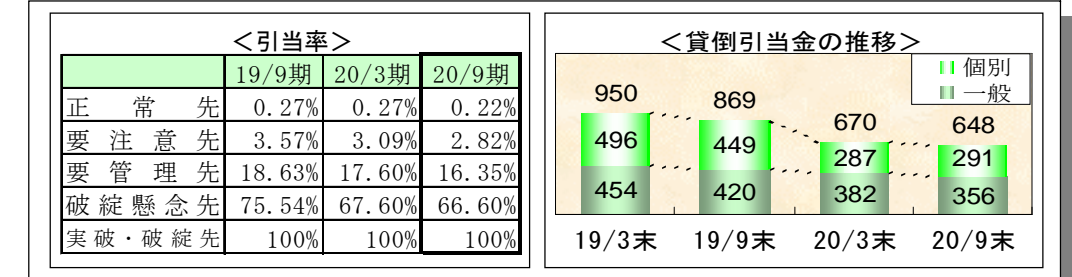


3. 資産の健全化

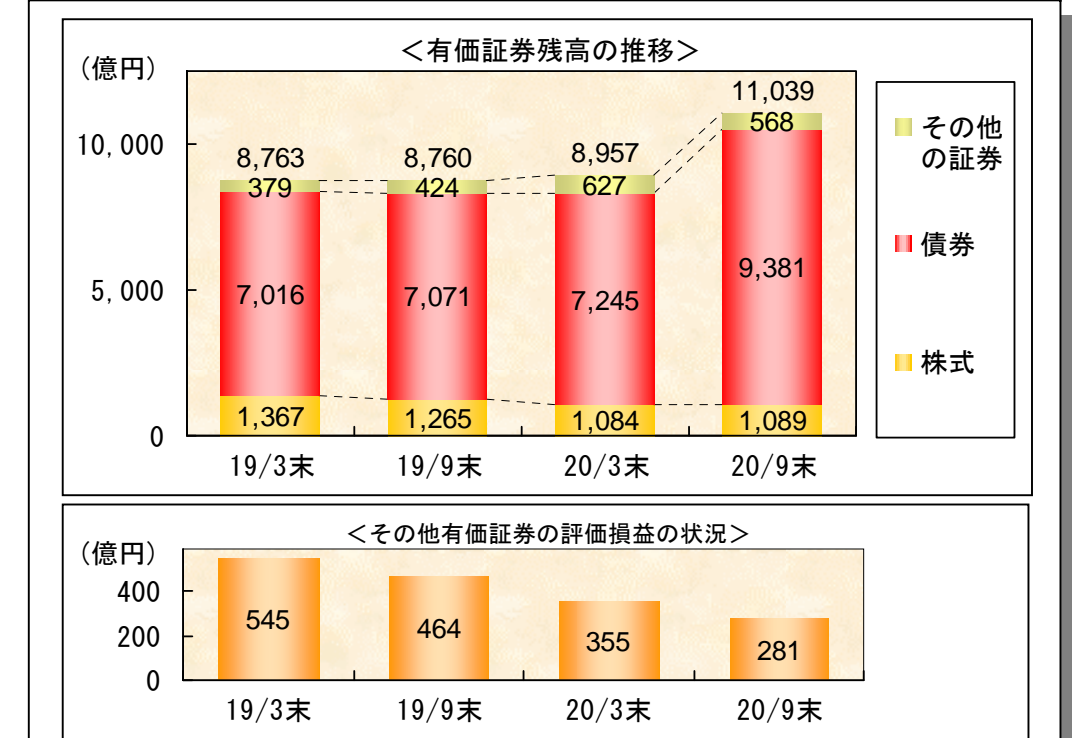
(1) 金融再生法開示債権



(2) 貸倒引当金



4. 有価証券の状況



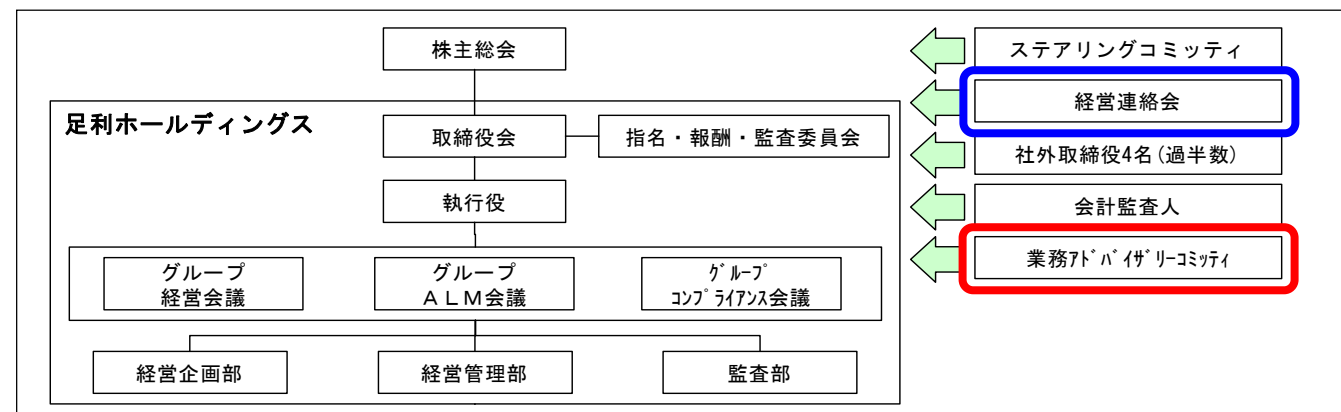


## 受皿移行に係る対応・経営管理体制

### 1. 受皿移行に係る主な対応（平成20年度）

日付	HD/BK	対応事項
4.11	HD・BK	預金保険機構等との間で、足利銀行の株式譲渡に係る株式売買契約を締結
5.16	HD	銀行持株会社に係る認可を取得
5.20	HD・BK	預金保険法に基づく適格性の認定を取得
	HD	事業計画を公表
6.9	HD・BK	格付投資情報センター（R&I）より格付を取得（足利HD：BBB+、足利銀行：A-）※いずれも発行体格付け
6.16	BK	預金保険機構による資産買取りの実施（買取価格17億円）
6.20	HD・BK	産業活力再生特別措置法に基づく事業再構築計画の認定を取得
6.30	BK	預金保険機構による金銭贈与の実施（贈与金額2,603億円）
7.1	HD	足利銀行の全株式を取得（取得価格1,200億円） 委員会設置会社へ移行するとともに、新たな取締役・執行役を選任
	BK	特別危機管理が終了、役員の変更を実施 足利ホールディングスを引受先とする1,600億円の増資を実施 （増資後：資本金2,274億円、資本準備金800億円）
8.27	BK	6月末を基準日とする臨時決算を公表
9.1	HD	資本準備金924億円全額を減少し、その他資本剰余金に振替え
9.17	BK	預金保険機構による金銭贈与の金額が、2,603億円から2,565億円に減額
9.19	BK	資本金ならびに資本準備金を減少し、繰越欠損金を填補 （減少後：資本金1,350億円、資本準備金0）

### 2. 経営管理体制の整備



経営連絡会
設置：20年8月
開催：四半期毎（第1回は9月に開催）
メンバー：5%超の議決権を有する普通株主
概要：業績の報告を中心として、事業計画の進捗状況や経営上の課題について、株主との情報共有や意見交換を行う

業務アドバイザーコミッティ
設置：20年10月
開催：半期毎（第1回は10月に開催）
メンバー：外部有識者・地域関係者6名
概要：地域金融機関としての経営や業務運営等について、外部有識者・地域関係者から幅広く意見・助言をいただく

## 足利ホールディングス連結決算について

### 1. 損益

#### 【足利HD単体損益】

(単位：億円)	
	20/9期
営業収益	1.8
営業費用	0.9
営業外損益	▲40.6
経常利益	▲39.8
中間純利益	▲39.8

⇒銀行からの経営管理手数料のみ  
⇒設立および資金調達等の諸費用等

#### 【足利銀行連結損益】

(単位：億円)			
	7~9月分 (①-②)	20/9期 ①	20/6期 ②
経常収益	271	547	275
業務粗利益	225	447	222
営業経費	136	280	144
その他経常損益	▲38	▲66	▲27
経常利益	50	100	50
特別損益	1	2,566	2,565
中間純利益	53	2,667	2,613

#### 【足利HD連結損益】

●足利HD連結損益には、7月1日（足利銀行株式の取得日）以降の3か月分の足利銀行連結損益を反映  
●したがって、20年度第1四半期（4~6月）分の足利銀行連結損益は、足利HD連結損益に反映されておりません

(単位：億円)	
	20/9期
経常収益	271
業務粗利益	211
資金利益	173
役員取引等利益	33
その他業務利益	3
営業経費	137
その他経常損益	▲64
経常利益	8
特別損益	1
中間純利益	10

### 2. 資産・負債・自己資本

(単位：億円)			
	銀行単体	銀行連結	HD連結
総資産	45,193	44,889	46,095
総負債	43,618	43,298	44,307
純資産	1,574	1,591	1,787
その他有価証券評価差額	229	229	▲66
資本金・資本剰余金・利益剰余金	1,350	1,367	1,860
その他有価証券評価差損(▲)	-	-	▲66
のれん相当額(▲)	-	-	▲1,224
Tier1	1,350	1,367	568
Tier2	156	155	568
控除項目	(-)1	(-)4	(-)4
自己資本額	1,506	1,518	1,133
リスクアセット	25,033	24,801	24,775
自己資本比率	6.01%	6.12%	4.57%

①HD連結の**有価証券**の帳簿価格は、7月1日（足利銀行株式の取得日）の時価評価額であり、その後の株価下落等の影響から、差損が生じたもの。有価証券評価差損はTier1から控除

②のれん相当額1,224億円がTier1から控除

③算入対象の劣後ローンは1,050億円あるものの、Tier1が上限

①②③から、銀行(単体・連結)とHD連結の自己資本比率に差があるもの

**足利ホールディングスにおいては、外部環境の状況を見ながら必要に応じ、自己資本の増強をはかる予定であり、既に大株主との間において協議を行っているところです。**